

三味一体

2025年度 特別勘定の現況

●投資環境(2025年度)

日本株式市場

当年度の国内株式市場は上昇しました。年度初は、トランプ米政権が発表した事前予想を上回る相互関税や、米国と中国による関税応酬を受けた世界的な景気後退懸念から、リスク回避志向が強まりました。しかし、その後相互関税の一部を90日間停止すると表明したほか、米中両政府による相互関税の大幅引き下げが好感され、国内株式市場は値を戻しました。2025年7月以降は日米の関税交渉の妥結で不透明感が低下したことに加え、AI市場の成長期待から半導体・電子部品関連を中心に国内株式市場の上昇が継続しました。年度後半、高市新政権による積極財政や金融緩和政策の継続への期待、2026年2月の衆議院議員選挙での自民党大勝による政権運営安定化への期待から、国内株式市場は大きく上昇しました。しかし年度末にかけて、米国とイスラエルによるイランへの軍事攻撃で中東情勢が緊迫化し、原油価格が急騰したことなどをを受けて、投資家のリスク回避志向が高まり、国内株式市場は下落しました。

外国株式市場

当年度の外国株式市場は上昇しました。年度前半は、米国雇用統計などの力強い経済指標や米国と中国が相互関税の引き下げで合意したことを受けて貿易摩擦の緩和期待が高まったことや、米国の関税政策によるコスト上昇や消費鈍化への懸念はあったものの、底堅い消費を示す経済指標や良好な企業決算が好感されたことなどから外国株式市場は上昇しました。また、日米貿易協定の合意や、米国とEU（欧州連合）との関税協議進展への期待が高まり、外国株式市場はさらに上昇しました。年度後半は、米中間の関税緩和措置の合意や米国政府機関の閉鎖終了に加え、その後発表された経済指標が労働市場の低迷を示唆したこと、2025年12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）での利下げ期待が高まり、外国株式市場は上昇しました。年度末にかけては、米国雇用統計で失業率が悪化したことに加え、中東情勢の緊迫化による原油価格の急騰が重石となり、外国株式市場は下落しましたが、年度を通しては上昇しました。

日本債券市場

当年度の10年国債利回りは上昇しました。年度初、米国の関税政策に伴う景気後退懸念などから日銀による追加利上げ観測は大幅に後退し、10年国債利回りは一時1.1%程度の水準まで低下しました。その後、米国と中国が相互関税の引き下げで合意したことを受けて景気悪化懸念が和らぐと、10年国債利回りは1.6%台半ばまで上昇しました。2025年10月に高市内閣が発足すると財政拡張懸念が重石となったことや、12月に日銀が0.75%への利上げに踏み切ったことなどから、10年国債利回りは2.3%台半ばへと上昇基調を強めました。年度末にかけては、財政拡張懸念の後退から一時10年国債利回りは2.1%程度まで低下しましたが、中東情勢の緊迫化による原油高などを背景に再び上昇し、2.3%程度の水準で当年度を終えました。

外国債券市場

当年度の米国債利回りは上昇しました。年度初、トランプ米政権による大規模な関税政策を背景に、米国の物価や景気の先行き不透明感から米国資産全体に売り圧力がかかり、米国債利回りは上昇しました。その後、各国との関税交渉が進展するなか、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ再開への期待が高まったことで、年度半ばにかけて米国債利回りは低下基調で推移しましたが、年度末にかけては中東情勢の緊迫化により原油高が進行し、世界的にインフレ再燃への警戒感が高まったことで、米国債利回りは再度上昇して当年度を終えました。ドイツ国債利回りは上昇しました。年度初、米国の関税政策を背景とした欧州国債への逃避的な買いにより、ドイツ国債利回りは低下する局面もありましたが、その後はECB（欧州中央銀行）が米国に先行して利下げサイクルを終えたことで、上昇基調に転じました。年度末にかけては、中東情勢の悪化による原油高を背景に、ECBが近い将来利上げに転じる可能性が意識され始めたことから、ドイツ国債利回りは大きく上昇して当年度を終えました。

外国為替市場

当年度の米ドル円為替レートは円安米ドル高となりました。年度初、米国の関税政策を受けて円高米ドル安基調でスタートしたものの、その後、石破首相の退任により日銀の利上げ時期が後ろ倒しになるとの思惑から、円安米ドル高に転じました。年度半ば、日米の財務省による協調為替介入への思惑から、一時円高米ドル安が進行したものの、積極財政方針を掲げる高市政権の発足によって財政悪化への懸念が強まり、年度末にかけて円安米ドル高基調での推移が継続しました。ユーロ円為替レートは、円安ユーロ高となりました。米国の関税政策を背景としたリスク回避的な思惑から主要通貨対比でユーロが堅調な地合いとなるなか、高市政権の積極財政方針を受けた財政悪化懸念も加わり、当年度を通じて円安ユーロ高基調で推移しました。

●運用実績の推移および運用方針

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| ①当期の運用実績の推移 | 特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2025年度決算(決算日：2026年3月31日)を行いました。当資料は2025年度の運用状況をご報告するものです。

3ページ以降は特別勘定レポート(2026年4月発行(2026年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認ください。

●特別勘定資産の内訳(2025年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	世界バランス 45MU
現預金・コールローン	2
有価証券	110
公社債	-
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	110
貸付金	-
その他	-
貸倒引当金	-
合計	112

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2025年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	世界バランス 45MU
利息配当金等収入	12
有価証券売却益	-
有価証券償還益	-
有価証券評価益	66
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	63
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	15

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2025年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界バランス 45MU	三菱UFJバランスファンド45VA (適格機関投資家限定)	-	-	8,165	8,705

※単位未満切捨て

●保有契約高(2025年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
年金受取総額保証付変額個人年金保険 GF 三味一体	3	103

※単位未満切捨て

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総合型	世界バランス 45MU	三菱UFJバランスファンド45VA (適格機関投資家限定)	三菱UFJ アセット マネジメント	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式25%、日本債券(短期金融資産を含む)30%、外国債券25%です。

●特別勘定の運用状況(2025年度末)

●ユニットプライスの推移



●ユニットプライスの期間収益率

	ユニット プライス	前月比	期間収益率 (左記基準日より 2026年3月末現在まで)
2025年3月31日	143.64	-1.11%	10.42%
2025年4月30日	141.59	-1.43%	12.02%
2025年5月31日	144.77	2.24%	9.56%
2025年6月30日	147.75	2.06%	7.35%
2025年7月31日	150.52	1.87%	5.38%
2025年8月31日	151.56	0.69%	4.65%
2025年9月30日	154.13	1.70%	2.90%
2025年10月31日	159.47	3.47%	-0.54%
2025年11月30日	160.46	0.62%	-1.15%
2025年12月31日	160.79	0.21%	-1.36%
2026年1月31日	160.87	0.05%	-1.41%
2026年2月28日	165.98	3.18%	-4.44%
2026年3月31日	158.61	-4.44%	-

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

●特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比
投資信託	110	98.1%
現預金その他	2	1.9%
純資産総額	112	100.0%

※保険契約の解約等の異動に備えて、若干の現預金を保有しています。

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

■ファンドの特色

- ①NOMURA－BPI総合インデックス30%、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）20%、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）25%、MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）25%で組み合わせた合成指数をベンチマークとし、この動きを概ね捉えることをめざします。
- ②日本債券インデックスマザーファンド受益証券、TOPIXマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券、外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
- ③各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1か月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。
- ④実質組入外貨建資産に対する為替ヘッジは原則として行いません。

■基準価額および純資産総額の推移



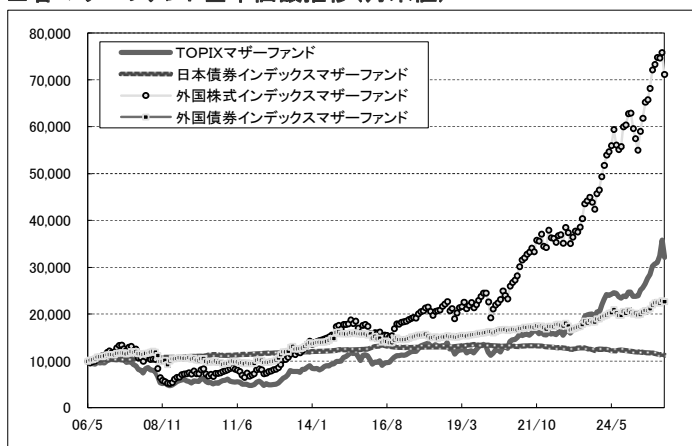
- ・基準価額は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
- ・ベンチマークは、設定日前営業日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-4.3%	-0.7%	4.2%	13.5%	37.1%	168.3%
ベンチマーク	-4.3%	-0.7%	4.4%	13.8%	38.2%	181.8%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
- また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。

■各マザーファンド基準価額推移（月末値）



- ・グラフは三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日（2006年5月15日）の前営業日を10,000として指数化しています。

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	26,827円
前月末比	-1,209円
純資産総額	1.10億円
前月末比	-0.05億円

■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第20期	2026/02/20	0円
第19期	2025/02/20	0円
第18期	2024/02/20	0円
第17期	2023/02/20	0円
第16期	2022/02/21	0円
第15期	2021/02/22	0円
設定来累計		0円

■資産構成

	標準 資産配分	比率
国内株式	20.0%	18.7%
国内債券	30.0%	30.4%
外国株式	25.0%	24.5%
外国債券	25.0%	25.8%
コールローン他	0.0%	0.6%

三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としています。当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

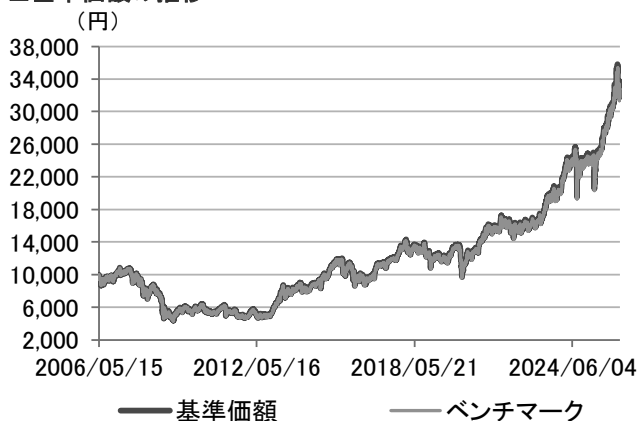
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 TOPIXマザーファンド

■基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)の設定日(2006年5月15日)の前営業日を10,000として指数化しています。

・ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)です。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-10.3%	3.6%	12.8%	34.7%	87.4%	221.0%
ベンチマーク	-10.3%	3.6%	12.8%	34.6%	87.4%	217.3%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)の設定日(2006年5月15日)の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質国内株式	100.0%
内 現物	98.2%
内 先物	1.8%
コールローン他	0.0%

■組入上位10業種

業種	比率	ベンチマーク 構成比
1 電気機器	16.9%	17.2%
2 銀行業	10.4%	10.6%
3 卸売業	8.9%	9.1%
4 機械	6.2%	6.3%
5 輸送用機器	6.1%	6.2%
6 情報・通信業	6.1%	6.2%
7 化学	4.6%	4.7%
8 小売業	4.2%	4.3%
9 医薬品	3.9%	4.0%
10 保険業	3.5%	3.6%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,654銘柄

銘柄	比率	ベンチマーク 構成比
1 トヨタ自動車	3.3%	3.4%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.2%	3.3%
3 日立製作所	2.3%	2.3%
4 三菱商事	2.2%	2.3%
5 ソニーグループ	2.2%	2.2%
6 三井住友フィナンシャルグループ	2.1%	2.2%
7 三井物産	1.8%	1.8%
8 みずほフィナンシャルグループ	1.7%	1.7%
9 三菱重工業	1.6%	1.6%
10 東京エレクトロン	1.6%	1.6%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としています。当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

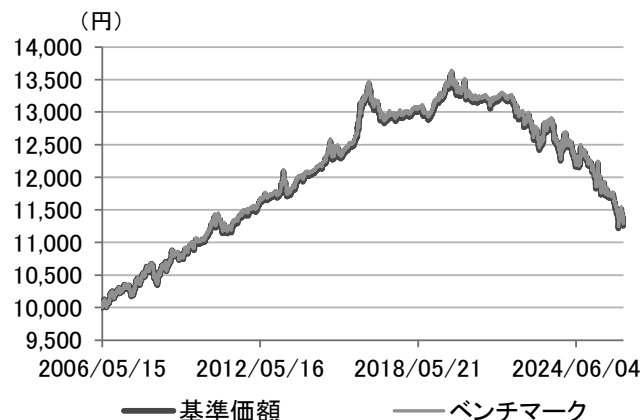
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 日本債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日（2006年5月15日）の前営業日を10,000として指数化しています。

・ベンチマークは、NOMURA-BPI総合インデックスです。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.8%	-1.7%	-3.9%	-5.4%	-11.8%	12.7%
ベンチマーク	-1.8%	-1.7%	-3.8%	-5.4%	-11.8%	13.0%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日（2006年5月15日）の前営業日を起点として計算しています。

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	2.2%	2.2%
デュレーション	7.8	7.8

■種別組入比率

種別	比率
国債	83.6%
政保債	1.3%
地方債	6.0%
金融債	0.3%
事業債	6.6%
円建外債	0.3%
MBS	0.8%
ABS	0.1%

■資産構成

	比率
実質国内債券	98.9%
内 現物	98.9%
内 先物	0.0%
コールローン他	1.1%

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.3%
1～3年	21.9%
3～7年	30.5%
7～10年	17.2%
10年以上	29.1%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,097銘柄					
銘柄	種別	クーポン	償還日	比率	
1 第163回利付国債(5年)	国債	0.4000%	2028/09/20	1.3%	
2 第372回利付国債(10年)	国債	0.8000%	2033/09/20	1.1%	
3 第369回利付国債(10年)	国債	0.5000%	2032/12/20	1.1%	
4 第368回利付国債(10年)	国債	0.2000%	2032/09/20	1.1%	
5 第153回利付国債(5年)	国債	0.0050%	2027/06/20	1.1%	
6 第373回利付国債(10年)	国債	0.6000%	2033/12/20	1.0%	
7 第376回利付国債(10年)	国債	0.9000%	2034/09/20	1.0%	
8 第363回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2031/06/20	1.0%	
9 第379回利付国債(10年)	国債	1.5000%	2035/06/20	1.0%	
10 第370回利付国債(10年)	国債	0.5000%	2033/03/20	1.0%	

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・NOMURA-BPI総合インデックスとは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としています。当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 外国株式インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)の設定日(2006年5月15日)の前営業日を10,000として指数化しています。

・ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-6.1%	-4.8%	4.4%	23.9%	89.6%	612.4%
ベンチマーク	-6.1%	-4.8%	4.3%	23.7%	88.5%	576.8%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)の設定日(2006年5月15日)の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質外国株式	100.1%
内 現物	98.3%
内 先物	1.8%
コールローン他	-0.1%

■組入上位10業種

業種	比率
1 半導体・半導体製造装置	11.2%
2 資本財	8.2%
3 ソフトウェア・サービス	7.4%
4 テクノロジ・ハードウェア・機器	7.0%
5 医薬品・バイオテクノ・ライフ	6.9%
6 メディア・娯楽	6.9%
7 銀行	6.8%
8 金融サービス	6.4%
9 エネルギー	5.0%
10 一般消費財・サービス流通・小売り	4.5%

■組入国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	74.2%
2 イギリス	4.1%
3 カナダ	3.7%
4 フランス	2.7%
5 スイス	2.5%
その他	11.0%

■組入上位10銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.4%
2 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	4.9%
3 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.4%
4 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.6%
5 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.0%
6 ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.9%
7 BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.8%
8 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.6%
9 TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.3%
10 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.0%

組入銘柄数: 1,132銘柄

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 外国債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)の設定日(2006年5月15日)の前営業日を10,000として指数化しています。

・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)です。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.6%	0.8%	7.4%	12.7%	31.9%	127.8%
ベンチマーク	-0.6%	0.8%	7.4%	12.7%	32.0%	128.6%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)の設定日(2006年5月15日)の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質外国債券	99.3%
内 現物	99.3%
内 先物	0.0%
コールローン他	0.7%

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	3.6%	3.6%
デュレーション	6.1	6.2

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.9%
1～3年	28.4%
3～7年	34.1%
7～10年	13.9%
10年以上	22.0%

■公社債通貨別組入比率

通貨	比率
1 米ドル	45.7%
2 ユーロ	28.7%
3 中国元	12.2%
4 英ポンド	5.7%
5 カナダドル	2.1%
その他	5.0%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 987銘柄						
銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率	
1 0.625 T-NOTE 300815	国債	0.6250%	2030/08/15	アメリカ	0.7%	
2 1.25 T-NOTE 310815	国債	1.2500%	2031/08/15	アメリカ	0.7%	
3 1.625 T-NOTE 310515	国債	1.6250%	2031/05/15	アメリカ	0.7%	
4 0.875 T-NOTE 301115	国債	0.8750%	2030/11/15	アメリカ	0.7%	
5 2.375 T-NOTE 290515	国債	2.3750%	2029/05/15	アメリカ	0.6%	
6 0.625 T-NOTE 300515	国債	0.6250%	2030/05/15	アメリカ	0.6%	
7 4.5 T-NOTE 270515	国債	4.5000%	2027/05/15	アメリカ	0.6%	
8 3.375 T-NOTE 330515	国債	3.3750%	2033/05/15	アメリカ	0.6%	
9 4.125 T-NOTE 321115	国債	4.1250%	2032/11/15	アメリカ	0.6%	
10 4.25 T-NOTE 270315	国債	4.2500%	2027/03/15	アメリカ	0.6%	

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)とは、FTSE世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「契約初期費用」、「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。

	項 目	内 容	費 用	備 考(適用時期等)
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の4%	特別勘定への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用期間中	保険関係費用 (保険契約管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して 年率2.55%	特別勘定の純資産総額に対して年率2.55%/365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用関係費用*1 (資産運用管理費)	特別勘定の運用に係る費用	特別勘定の投資対象となる投資 信託の純資産総額に対して 年率0.2827%程度 (税抜0.257%程度)	特別勘定の投資対象となる投資 信託の純資産総額に対して 年率0.2827%程度/365日を乗 じた額を毎日控除します。
年金支払 期間中	保険関係費用 (年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%*2	年金支払開始日以降、年1回の 年金支払日に責任準備金から 控除します。

*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

*2 2026年4月以降 保険関係費用(年金管理費)は年金額に対して1.0%以内から1.0%に変更となりました。

投資リスクについて

この商品はご契約者から払い込まれた一時払保険料を積立金として特別勘定で運用します。この商品の特別勘定は国内外の株式および債券等の各資産を主要投資対象とする投資信託等に投資することにより運用を行います。この商品では、特別勘定の運用実績が将来お受け取りになる年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等の変動(増減)につながるため、高い収益性が期待できる反面、投資の対象となる株価や債券価格等が下落した場合には積立金額も下落します。

また、外国株式や外国債券を投資対象としている場合は為替相場の影響を受けますので、為替相場の変動により積立金額が下落する場合があります。その結果、解約払戻金額・年金原資等が払込保険料総額を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属することになりますので十分ご注意ください。

ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金保険 三味一体(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- 「投資型年金保険 三味一体(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも年金受取総額で基本保険金額の100%を最低保証します。ただし、年金の受取方法は確定年金(年金支払期間15年)のみとなり、一括受取を希望される場合は基本保険金額の90%を最低保証します。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

東京海上日動あんしん生命保険株式会社
ホームページ <https://www.tmn-anshin.co.jp/>

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ



0120-155-730

受付時間 平日 9:00~17:00
(土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)



200101